

第二回 留学便り

2011年1月13日

欧米第一課程 英語専攻3年 PRSP 班

澤田 麻美

留学先： Sprott-Shaw Community College

履修内容： FITT - International Trade Program -

都市： Vancouver, CANADA

期間： 2010年9月27日～2011年4月1日



ゼミ生の皆さん、お久しぶりです。留学期間の比較的短い私にとって、こちらカナダでの生活は早くも残り半分をきりました。前回の留学便りを書いた後、私は11月には学校の所在するダウンタウンエリアに引越し、平日は授業と課題、週末は主にダンススクールやウィンタースポーツで体を動かすという、かなり健康的な生活を送っています。家からバスを乗り継いで2時間以内で通える範囲内に3つのゲレンデがあり、ウィスラーまでも車で2時間というこの環境は、ウィンタースポーツ好きの方にはたまらないのではないのでしょうか。雪山について力説したい気持ちは山々ですが、今回の留学便りでは、前回に引き続き私の履修しているプログラム内容と、バンクーバーでの部屋探しについて少しレポートしたいと思います。

【FITTとは】

Forum for International Trade Training の略称であり、今日のグローバル市場における実践的スキルを各個人に習得させることを目的として、カナダの貿易業界と政府関係者によって設立された NGO 団体です。(FITT ホームページより) 私の受講しているプログラムでは FITT の Diploma 取得に必須の 8 科目と Sprott-Shaw Community College が独自に提供する 2 科目の合計 10 科目を約半年間で終わらせます。各種留学代理店などは、コース修了後の就職率の高さを推していますが、FITT の日本での知名度はまだ低いので、就活等でアピールしたい場合は面接時にこのプログラム内容をしっかりと説明できるかどうか重要となってくると思います。

【授業内容】(2010年10月後半～2011年1月前半)

この期間に受講した科目は以下の通りです。

- ✚ Career Planning and Management
- ✚ International Trade Management
- ✚ Global Entrepreneurship (別名 Global Business Environment)
- ✚ International Trade Research
- ✚ International Trade Logistics (別名 GSCM -Global Supply Chain Management-)

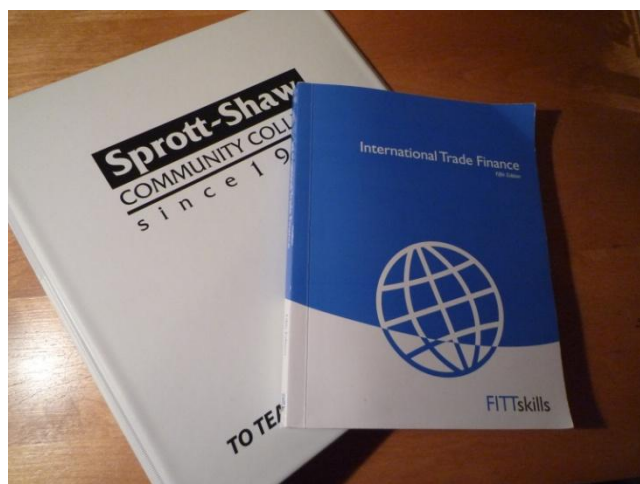
1つ目の Career Planning and Management は、Sprott-Shaw 独自の科目のひとつで、内容は完全にカナダでの就活を念頭に置いたレジュメ作りや簡単なマナー指導、カナダ国内の就活サイトを使った求人情報の収集など。「カナダ国内での就活」という前提が半数以上の受講生に当てはまっていなかった事、プログラムが始まったばかりで履歴書のアピール欄を埋めるのに苦労した事に関しては、正直、不満も感じました。しかし、カナダ式（おそらくアメリカでも通用すると思われる）英文履歴書の基本的な作成方法や、求人情報の集め方などを身に付けることができた点に関しては有益だったように思います。

2つ目の International Trade Management と、4つ目の International Trade Research はともにプロジェクト提出によって成績評価がなされる FITT の必修科目です。

- プロジェクトとは、既存（あるいは架空）の企業および商品（又はサービス）を選び、その商品がまだ輸出されていない国・地域に輸出するビジネスプランを作成することです。
Management は一つの国（マーケット）に絞り込んだ細かいプランニング、**Research** は二つのマーケットを選び出し比較をするというもの。

個人的には、試験科目よりもこれらのプロジェクトに苦戦しています。提出期限は授業の最終日から1カ月あるので、はじめは割と余裕があるように思えたのですが、授業内容を理解する事と、そこで得た知識を用いて実際にビジネスプランニングをする事との間には、大きな壁があるように感じました。たとえば、「消費者ターゲット層を絞る事が重要」だと分かっているにもかかわらず、食料品など個人の嗜好に左右されやすいものはターゲット層が絞りづらい、Competitor の分析に必要なマーケットシェアなどの情報はほとんど無料では入手できない（インターネットで入手可能でも500ドル以上するものが殆ど）、など、学生として課題の範囲で取り組むには制限が多いのが現状です。それでも、なるべく信憑性の高い情

報をもとに、論理的にプロジェクトを作成しなければいけないので、情報リテラシーと論理的思考力、そしてあらゆる工夫が必要となります。これらはどれも、今まで自分に全く足りていないと感じてきた分野なので、今回プロジェクト課題に取り組む中で少しでも向上させる事が出来れば、と思います。



Sprott-Shaw Community College のファイル (左) と FITT のテキスト (右)

【バンクーバーでの部屋探し】

長期留学（大学、語学学校、専門学校など）やワーキングホリデーで滞在している日本人がかなり多いバンクーバーでは、そうした日本人向けの現地留学エージェント、日系の旅行会社や美容室、レストランや食料雑貨店などが数多くあり、バンクーバー在住の日本人の間での情報交換には日系フリーペーパーや留学エージェントの提供する掲示板サイトなどがよく用いられています。

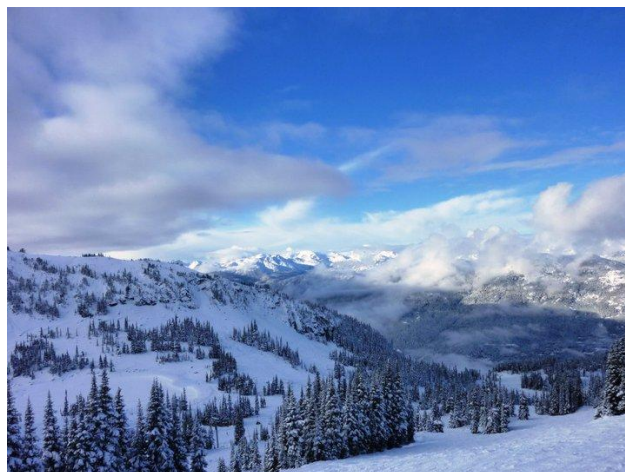
私はそうした掲示板の「賃貸・ルームシェア」の項目で情報を集め、いいと思える部屋を 10 件ほど見つけ、うち 5 件を実際に見学して今の住居に決めました。同世代の女性と 2 人でバスルーム・キッチンシェアし、彼女は広めのリビングルームをカーテンで仕切り、私はドア付きの BD(ベッドルーム)を使うので、互いにプライベート空間は確保できています。日本人同士なのでいろいろな情報はもちろん、調味料なども共有できて大変便利です。ルームシェアの家賃の相場はダウンタウンだと、専用バスルーム付き 1 BD で 750 ドル前後、キッチン・バス共用だと 1 BD が 500~600 ドル程度、リビングをカーテンで仕切るタイプだとさらに家賃は下がります。

国籍の違う人とルームシェアをしたい場合は「craigslist」というウェブサイトが参考に

なります。バンクーバーでは特にアジアや南米からの留学生の入れ替わりが激しいので、部屋を見つけること自体はそこまで難しくありません。しかし、国籍が違えば文化の違いから些細な事でトラブルになる事も多いと聞くので、英語力向上のためだからといってひたすら日本人以外のシェアメイトを探すのではなく、ちゃんと入居を決める前に会って会話をし、人柄を知っておくことは最低限必要だと思います。



バンクーバーに居られる残りの3カ月、授業、課題、趣味もすべて含めて帰国後に悔いが残らぬよう、日々をできるだけ生産的に過ごしていきたいと思います。ゼミの皆さんも就活に卒論執筆に忙しい日々を過ごしておられる事と思いますが、ぜひ体調には気を付けて一つひとつの課題を乗り越えてください。私も頑張ります。それではまた、留学便り最終回で。



ウィスラーの眺め (友人撮影)